

## 事故の型別にみた車両系建設機械等による死亡災害事例 (平成22年発生分)

### ■車両系建設機械

#### 01. 墜落・転落

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	高知	その他業種	6月	50～59歳	事業場が管理する道路（こう配約10度、路幅約10mの舗装路）の中央付近に落下していたコンクリート塊をトラクター・ショベルを使用して撤去する作業中、下り方向へ後進させたところ、路肩から車両とともに約30m下の斜面へ転落した。
2	広島	土木事業	8月	60歳以上	林道開設工事において、ドラグ・ショベルを運転し掘削する箇所へ向かい斜面を登っている途中に路肩が崩れ、重機ごと20m下の溪流へ転落した。
3	香川	土木事業	10月	50～59歳	河川の護岸工事において、ドラグ・ショベルのバケットに乗り型枠組立作業中、同ショベルの運転手が着ていた合羽が旋回操作レバーに引っ掛かり、バケットが振れ墜落した。
4	熊本	その他業種	10月	40～49歳	貸し出していた機体重量1.6トンのドラグ・ショベルを返却の際、2トントラックから乗降台に降ろしたあと、乗降台のスロープを使って地上へドラグ・ショベルを移動中に乗降台からドラグ・ショベルごと横転した。
5	岐阜	その他業種	11月	50～59歳	被災者がトラクター・ショベルを運転し、ゴミをバケットに積み込み、可燃ゴミ用のピットに落とす作業を行っていたところ、高さ約30cmの車止めを乗り越え、ピット内に重機ごと転落した。
6	愛媛	土木事業	5月	60歳以上	被災者が一人で、ドラグ・ショベルを使用して、作業道（幅員約4.5m）の開設のため、掘削及び立木の取り除き作業をしていたところ、路肩が崩れ、ドラグ・ショベルとともに約30m下の既設林道まで転落し、立木の間に挟まれた状態で発見された。
7	兵庫	建築事業	6月	60歳以上	SRC7階建の建物の解体工事現場、5階床部分において、床上に集積したコンクリート廃材をドラグ・ショベルにより階段口に投下する作業を行っていたが、アームを右旋回させた際にバランスを崩し、同階段口からドラグ・ショベルとともに約16m下の1階まで転落した。階段口には鉄骨階段が設置されていたが、ドラグ・ショベルとともに転落した際、階段ごと抜け落ちた。
8	熊本	土木事業	9月	30～39歳	道路舗装工事現場で、砂をいれたフレコンバックをドラグ・ショベル（機体重量2.45トン）で吊り上げ運搬中、高さ2.6m下の海岸にドラグ・ショベルが転落し、ドラグ・ショベルを運転していた被災者がドラグ・ショベルの下敷きとなった。
9	東京	土木事業	11月	60歳以上	ドラグ・ショベルをダンプカーに積載する作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルの荷重がダンプカーの荷台に掛った際、ダンプカーが移動し、ドラグ・ショベルが荷台から転落し、運転していた労働者が被災した。
10	徳島	土木事業	9月	60歳以上	ドラグ・ショベルを用いて支障木（長さ14m）をトラックの荷台上に積み込む作業中、先に積込んだ木の上（高さ約3m）において人力で積み位置を調整していたところ、玉掛けしていたワイヤーが外れ、吊っていた木に押された被災者が路面に転落し、さらに崖下まで約7m転落した。
11	広島	土木事業	2月	50～59歳	ドラグ・ショベルを移送し、移送先の現場でユニック車の荷台から被災者が運転してドラグ・ショベルを降ろす際、ユニックのアウトリガーを上げてユニック車全体を傾け、下り坂道路の地面にバケットをついて機体を動かそうとしていた時にドラグ・ショベルのバランスが崩れて荷台から滑り落ち、さらに道路の法面を転落して運転席から放り出されて機体に激突され被災した。
12	東京	土木事業	2月	50～59歳	公園造成に伴うフェンス整備工事において、掘削で出たガラを取り除くために被災者がドラグ・ショベルを運転して掘削端部側を移動中、掘削端部の地山が崩れドラグ・ショベルが掘削部に転倒し、被災者が運転席から約1.7m下の掘削底に墜落した。

## ■車両系建設機械

## 01. 墜落・転落

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
13	鹿児島	その他業種	4月	60歳以上	ドラグ・ショベルの修理作業を行っていた被災者から約31 m離れた箇所ですり破石の選別作業を行っていた同僚が、同ドラグ・ショベルの運転席後ろのカウンターウェイトの端から墜落する被災者を目撃した。カウンターウェイト上面から墜落箇所までの高さは2.3 mであり、災害発生時、被災者はヘルメットを着用していなかった。
14	長野	土木事業	4月	50～59歳	被災者が護岸の埋め戻しを行うため、ドラグ・ショベルを使用して土砂の積み込み作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルごと川に転落し、ドラグ・ショベルに挟まれた。
15	山口	土木事業	1月	60歳以上	県道新設工事現場において、大型ダンプトラックから降ろされた土砂の転圧作業を行うため、タイヤローラーを運転し転圧を行っていたところ、2度目の後退時にタイヤローラーを法肩に寄せすぎたため、タイヤローラーのバランスが崩れ、タイヤローラーとともに、法肩から転落した。被災者はタイヤローラー運転に関する特別教育を受けていなかった。
16	栃木	土木事業	3月	50～59歳	道路舗装工事現場において、被災者は舗装が終了した路肩部の土を締め固めるため、ローラー（ハンドガイド式）を操作していたところ、ローラーが進路から外れて、高さ約1.5 mの水田に転落し、その下敷きとなった。
17	愛知	土木事業	10月	50～59歳	堤防道路から河川敷に降りる道路の一部（約26 m <sup>2</sup> ）の舗装工事において、アスファルトを機体重量3.6 tのローラーで締め固めている際、路肩からローラーと共に運転手が約3 m転落し、運転手がローラーの下敷きになった。
18	奈良	土木事業	12月	20～29歳	林道維持修繕工事において、被災者は作業を行う現場まで締め固め用機械（ローラー）を移動する準備として、林道の路肩に止めていたローラーのエンジンを掛けその場に待機していた。数分後、災害発生現場に到着した作業員がローラーとともに路肩から転落している被災者を発見した。
19	山形	その他の建設業	3月	30～39歳	高所作業車に乗って電柱に支線を張る作業において、重みで垂れ下がった支線が現場付近を走行していた運送車に引っ掛けられたため、作業をしていた被災者が引っ張られ、高所作業車から約8.6 m下の道路に墜落した。なお、保護帽は正しく着用していたが、安全帯は腰に付けていただけでフックをバスケットに取り付けていなかった。

## ■車両系建設機械

## 02. 転倒

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	北海道	土木事業	5月	50～59歳	事業場の資材置き場において、ホイール式トラクター・ショベル（機体重量2.6 t）を運転し、一人で盛土用通路の均し作業中、後進させながら右旋回しようとしたところ、右後輪が盛土に乗り上げたため同トラクター・ショベルが横転し、投げ出された被災者が同トラクター・ショベルの下敷きとなった。
2	福岡	建築事業	12月	50～59歳	解体工事において、被災者が機体重量15 tのドラグ・ショベルを運転して高さ約3 m、角度20度のコンクリートガラの斜面を登っていたところ、当該ドラグ・ショベルが後方へ転倒し、被災した。被災者は車両系建設機械について3トン未満の特別教育を受講していたが、技能講習は修了していなかった。
3	埼玉	その他業種	11月	30～39歳	宅地造成現場ヘリスしたドラグ・ショベルを引き取りに行き、運搬用トラックに積み込むためドラグ・ショベルのバケットを地面に突いてアームで押しながら後進させて登っていたところ、横転し、キャビンに挟まれた。
4	千葉	土木事業	3月	20～29歳	油圧ショベルのショベルにワイヤーロープを掛け重さ600kgの手押しローラーをトラック荷台より降ろそうとしたところ油圧ショベルが転倒し、被災者が油圧ショベルの屋根部分の下敷きになった。
5	高知	土木事業	2月	40～49歳	被災者はブレーカ（機体総重量1.5 t）による法面の掘削作業終了後、測量作業を行うとした際、同ブレーカが測量作業の妨げとなっていたため南側に走行させていた。その際、移動場所が傾斜地であったこと及びブレーカのアームがやや東側方向となっていたことからバランスを崩してブレーカが転倒し、ブレーカの運転席ヘッドガード右側にある支柱の下敷きとなった。

## ■車両系建設機械

## 02. 転倒

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
6	愛媛	土木 事業	10月	60歳以上	被災者が手持式削岩機を使用して岩盤の破砕作業を行っていたところ、削岩機が岩盤の上を滑ったことにより体勢を崩し、うつ伏せの状態転倒した。このとき、顔面が木の根株の先(直径1~2cm)に当たり、右目の下に切創を負ったため、病院に搬送したところ、くも膜下出血と診断され、負傷を原因とする脳梗塞で死亡した。

## ■車両系建設機械

## 03. 飛来・落下

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	兵庫	土木 事業	11	40~49歳	河川の災害復旧工事で、碎石を詰めたホッパーをドラグ・ショベルのバケットのフックにワイヤロープを掛けて吊り上げ、旋回した際、ワイヤロープがフックから外れ、被災者の上に落下した。

## ■車両系建設機械

## 04. 激突され

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	三重	土木 事業	3月	20~29歳	2tトラックを運転し構内に入らせ、労働者が運転するトラクター・ショベル(機体重量16t)による碎石の積み込みを終え、トラックから降りて積み荷の状況を確認していたところ、後退してきた当該トラクター・ショベルに激突され、トラックとの間に挟まれた。
2	大阪	建築 事業	5月	60歳以上	中型貨物自動車の後部で荷おろし作業中、後退してきたトラクター・ショベルとの間に挟まれた。
3	山口	製造業	7月	50~59歳	社員駐車場から構内事務所に歩いて向かう際、構内にて、労働者が運転していたタイヤショベル左後輪にひかれた。
4	岩手	その他 業種	3月	20~29歳	工事現場の交通誘導作業中、工事現場内でダンプトラックが進後しようとしていたため、ダンプトラックの後方に移動し誘導していたところ、被災者の後方で作業を行っていたドラグ・ショベルに激突されひかれた。
5	福岡	土木 事業	10月	40~49歳	駐車場の敷地のコンクリート壁撤去作業において、斜めに立っていた電柱を真っ直ぐに立て直すため、ドラグ・ショベルのバケットに電柱を引っ掛け、1m後ろにバックしたところ、電柱が折れドラグ・ショベル側に倒れ、電柱の下敷きになり死亡した。
6	千葉	土木 事業	10月	60歳以上	上水道の敷設工事において、土工1名と配管工1名が掘削溝(長さ3.3m、幅0.7m、深さ0.9m)に入り、土工1名が水道管の周囲を手掘り掘削して土砂をドラグ・ショベルのバケットに入れる作業中、配管工1名が水道管のビニール剥がし等の作業を行っていたところ、不意にドラグ・ショベルの上部旋回体が旋回し、バケットが土工1名に激突した。
7	千葉	土木 事業	4月	30~39歳	河川改修工事後、ドラグ・ショベルを使用して鋼矢板の片づけを行うにあたり、元請のオペレーターがドラグ・ショベルを旋回させたところ、ドラグ・ショベルの横を移動していた被災者が、旋回したドラグ・ショベルの後部に激突され、わきに置いてあった高密度ポリエチレン管との間にはさまれた。
8	神奈川	土木 事業	2月	50~59歳	土木工事現場の資材置き場に積み上げたH鋼材(8.25m・1.2t)をクレーン機能付き掘削用機械で吊り上げて、当該鋼材に付着した土砂をスコップで取り除く作業を行っていた被災者に当該鋼材が激突し、後方に仮置きしてあった鋼材に挟まれて被災した。
9	神奈川	製造業	3月	40~49歳	ドラグ・ショベルを用いて路盤廃材を破砕機に投入する作業を行っていた際に、運転中のドラグ・ショベルの右後方に何らかの理由で立ち入った被災者が、被災者に気付かず作業を行っていたオペレーターの旋回操作等により接触し受傷した。

## ■車両系建設機械

## 04. 激突され

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
10	東京	土木事業	6月	60歳以上	被災者は道路の舗装工事が終了し、作業場所近くの通行止めの範囲に駐車していた4トンダンプトラックに、舗装定規(角材)を積み込む作業をしていた。当該ダンプの後方に、作業を終えた締固め用機械(コンパインドローラー3.6トン)を、回送車の現場到着まで待機させようとして移動してきた運転者が機械を一旦停止させたが、完全に停止していないことに気が付き、停止させようとしたが、機械の操作を誤り被災者に激突した。
11	大阪	その他の業種	12月	50～59歳	歩行者の誘導を行っていた警備員が、バックしてきた路盤転圧作業中のコンパインドローラーにひかれた。

## ■車両系建設機械

## 05. はさまれ巻き込まれ

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	岩手	その他の業種	1月	20～29歳	トラクター・ショベルを用いて事業場敷地内の除雪作業中、同僚に声をかけられキャビンから身を乗り出した際、アーム上昇ボタンを踏み込んでしまい、上昇したアームとキャビンフレームの間に挟まれた。
2	滋賀	その他の建設業	6月	60歳以上	S造2階建ての建築物の解体工事現場において、解体粉碎した瓦礫の選別作業を行っていた被災者が後退してきたドラグ・ショベルのキャタピラにひかれた。
3	北海道	土木事業	2月	60歳以上	被災者と計測者で誘導柱の基礎の高さを計測した後、被災者は、重機(ドラグ・ショベル)の横を歩いていた際、重機の運転者は被災者に気付かず重機を移動させ、重機の履帯に被災者がひかれた。
4	山口	その他の業種	7月	60歳以上	大雨の影響で鶏舎横の裏山が崩れ土砂が鶏舎横に堆積していたため、被災者がトラクター・ショベルを使用して崩れた土砂を除去していた。帰宅中の従業員が土砂の運搬を行っていた箇所の法面下に重機が横転しているのを確認したが被災者の姿が見られないため帰宅。翌日になっても、重機が横転したままになっていたため、重機の下を確認したところ、被災者が下敷きになっているのが発見された。
5	神奈川	その他の業種	9月	60歳以上	石炭バースに停泊している船舶の石炭の積み卸し作業が終了し、ハッチ内のトラクター・ショベルをクレーンにより陸揚げするために、トラクター・ショベル運転者である被災者がバケットを水平位置まで上げ、エンジンをかけたまま運転席を降り、アームの下に入って玉掛けを行おうとしていたところ、バケットが下降し、アームと機体フロント部の間にはさまれた。
6	大阪	建築工事業	6月	40～49歳	木造2階建ての解体工事現場において、ドラグ・ショベルを運転し解体作業中、当該ドラグ・ショベルの運転席右側(ブーム側)の窓ガラスが破損しており、被災者が運転席右側面の窓枠からブーム側に身を乗り出したところ、降下してきたブームと運転席に挟まれた。
7	佐賀	その他の業種	9月	20～29歳	当該事業場の敷地内において、リース用のドラグ・ショベル(移動式クレーン仕様のもの)を整理のため運転中に当該ドラグ・ショベルの運転室と隣接駐機中の掘削用機械(リース用)の運転室との間に挟まれた。
8	新潟	土木事業	11月	30～39歳	ガス管布設工事において、路面掘削のためドラグ・ショベル(機体重量3.24t 標準バケット容量0.1m <sup>3</sup> )の運転席に着いて待機をしていた被災者が、ドラグ・ショベルの窓枠とブームとの間に挟まれた。
9	福岡	土木事業	12月	50～59歳	污水管渠築造工事において、被災者は既設雨水管下部付近の土砂を車両系建設機械のバケットに積み込み作業中、当該車両系建設機械に乗り込もうとした労働者が、運転操作方式の切り替えを行うため「マルチレバー」を操作したところ、車両系建設機械のアームが動き、バケットと既設雨水管との間に挟まれた。
10	福岡	土木事業	12月	40～49歳	民家の石垣築造工事において、敷地出入口の通路で、被災者は路面の泥を片付けていたところ、敷地内から前面道路に向かって進行してきたドラグ・ショベルと、通路脇石垣の間にはさまれた。ドラグ・ショベルは旋回体が走行体の進行方向に対し僅かに左回転しており、旋回体の右後部はクローラー部全幅より突出していた。
11	北海道	その他の業種	1月	60歳以上	被災者はドラム缶8個のふたと中のビニル袋の開封をし終えた時に同僚がフォークリフトで開封済ドラム缶1個を回転式クランプで挟み運搬してきたので後ろに下がったところ、汚泥と石灰の攪拌作業を行うドラグ・ショベルが1.1m後退したため被災者が右側クローラにひかれた。

## ■車両系建設機械

## 05. はさまれ巻き込まれ

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
12	北海道	土木事業	1月	60歳以上	河川改修工事において、河岸の小径木を根ごとドラグ・ショベルのバケットですくい上げるため、作業し易い位置にドラグ・ショベルを移動させていたところ、ドラグ・ショベルの近くに立ち入った被災者が現場に積んであったコンクリートブロックとドラグ・ショベルとの間に挟まれた。
13	福岡	建築事業	1月	50～59歳	ドラグショベル（機体重量1.2t）を用いて鉄板（92cm×183cm、厚さ1cm）の吊込み作業をしていたところ、労働者が運転するドラグ・ショベルのバケット爪の先端とアーム部分に被災者がはさまれた。
14	宮城	その他の業種	2月	50～59歳	全長400mの道路舗装補修工事において、路盤下地材の再処理作業に従事していた重機オペレーターがドラグ・ショベルを後退させたところ、後方にいた警備員がひかれた。
15	新潟	その他の業種	2月	60歳以上	上水道工事現場において、県道の交通誘導を行っていた被災者が、同現場の除雪作業中に後退してきたホイール式ドラグ・ショベルにひかれたもの。
16	佐賀	土木事業	1月	50～59歳	下水道工事の資材置き場で被災者は一人作業でドラグ・ショベルを操作して、アスファルト片の移動作業中にドラグ・ショベルの左側クローラの傍らで、左下腿を切断、右大腿部を挫創を受けた状態で発見された。
17	東京	土木事業	6月	50～59歳	公園設備の工事で、トラックの荷台からローラーを下ろすため、鋼製の道板を設置し下ろしていたところ、道板上にて体勢を崩し仰向けに転倒、その上をローラーが通過し、ひかれた。
18	長野	その他の業種	10月	50～59歳	県道の舗装修繕工事において、片側交互通行規制で表層工を施工中、交通誘導員が仕上げ転圧作業中の後退してきたタイヤローラーの後輪にひかれた。
19	新潟	土木事業	11月	60歳以上	タイヤローラーで道路舗装作業中、道路長L=20m、片側幅3mの範囲でアスファルトの仕上げ転圧を行っていたところ、被災者が道路中央部に敷いてあった敷居角材を取り外していた際、後退してきたタイヤローラーにひかれた。
20	大阪	その他の建設業	6月	60歳以上	同僚が道路脇に駐車した高所作業車前方で、被災者が昼休憩のためビニールシートを敷く等の準備をしていた。同僚は駐車ブレーキをかけ、車止めをするために車両を降りたところ、車両が勾配に沿って走り出し、被災者がひかれ、車両と道路の路肩の方面に挟まれた。道路の勾配は車両の進行方向に向かって約5度下がっていた。
21	栃木	建築事業	8月	40～49歳	牛舎の増築工事における屋根部の作業において、被災者はタイトフレーム（屋根下地の波形の部材）を溶接で取付するための事前作業である屋根梁部（H鋼）への墨出し作業を高所作業車により行っていたが、自走（クローラ式）により高所作業車を走行させ梁間の移動をしていた際に、被災者の背部に接近していた梁に気付かず、梁とバスケットの手摺の間に挟まれた。
22	静岡	その他の建設業	12月	20～29歳	電線に掛かる木の枝の伐採が完了した為、坂道に停めていた高所作業車を移動しようとしたが、進行方向に邪魔になる枝があり、バスケット内の操作装置でバスケットの90度首振り操作をした。高所作業車後部の操作装置でアウトリガ格納後、車外から運転席のPTO（走行と架装部操作の切替）レバーを「走行モード」にした直後、高所作業車が逸走し、坂下で監視作業中の被災者が作業していた高所作業車の間に挟まれた。
23	埼玉	その他の業種	1月	20～29歳	工場内において、廃棄物（石膏ボード等の廃材）を重機（ドラグ・ショベルの先端をハサミに付け替えたもの）を使用して片付けていたところ、重機を運転していた被災者が運転席とアームの隙間に上半身を挟まれていたのが発見された。重機は中古で購入した当初からアーム側（右側）の全面ガラスはなく、そのまま使用していた。
24	北海道	その他の業種	1月	50～59歳	被災者は国道の除排雪工事に伴う除雪車等の交通誘導員として従事していた。駐車帯の出入り口付近にあった雪山の排雪作業を行っていたロータリー車が後退した際に被災者を5m跳ね飛ばし倒れた被災者の上を車体が通過し、さらに前方のオーガに被災者を巻き込んだ。
25	北海道	土木事業	1月	30～39歳	築堤の舗装工事現場において、アスファルトフィニッシャを使用して道路舗装作業中、被災者は合材敷き均し作業開始前で合材待ちのため待機していたところ、合材を横方向に掻き出すスクリーにうつつ伏せの状態巻き込まれ、スクリーと地面との間に挟まれた状態で発見された。

## ■車両系建設機械

## 05. はさまれ巻き込まれ

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
26	神奈川県	土木事業	7月	20～29歳	下水道工事現場において、SPR工法で塩ビの更生管敷設作業中、製管機と既設下水道の間に挟まれた。
27	新潟県	製造業	8月	40～49歳	サイレントパイラー（油圧式杭圧入機）のオーバーホールを終え、その組立時、オーガ（駆動部）にケーシングを接続する作業にて、オーガにケーシング内部のスクリューを接続し、次に抜け止め用接続ピンを打ち込む段階で、被災者はピン孔の位置を調整しようとケーシングの近傍に立ち、手持ちのリモコンを操作してスクリューを回転させたところ、ケーシングとスクリューが治具で固定されていたためケーシングが回転し被災者がひかれた。
28	京都府	建築事業	9月	30～39歳	建物解体現場において、建設資材廃棄コンテナ（360cm×190cm、高さ95cm）に資材廃棄中、旋回中の重機（ハサミ）のカウンターウエイト部とコンテナの間に挟まれた。
29	岩手県	その他の業種	10月	50～59歳	シュレッダー工場内に設置されたタンピングシャー脇のピットから、油圧ショベルに掴みアタッチメントを取り付けた重機を使用し、スクラップを取り出す作業を行っていた。被災者は、ピット脇でスクラップを掴む誘導を行っていたが、作業を終えたオペレーターが重機を後退させようとしたところ、左クローラー脇に倒れている被災者を発見した。
30	長崎県	その他の業種	10月	20～29歳	タイヤリサイクルセンター作業場内においてダンプトラックから下ろした回収済の切断タイヤを破砕機にて被災者が整理しようとして前进了たところ、右前に立っていた被災者が破砕機のクローラにひかれた。
31	千葉県	製造業	11月	20～29歳	後方から走行してきた道路清掃車（ロードスイーパー）が被災者と同僚に接触し、被災者がロードスイーパーの下に入り込んだ。
32	鹿児島県	土木事業	12月	20～29歳	アスファルトフィニッシャーのスクリューを動かしながら噴霧器で軽油（アスファルト材の固着を防止するためのもの）を吹き付けていた被災者が同スクリューに上半身を巻き込まれた状態で発見された。
33	福島県	土木事業	12月	50～59歳	ロータリー除雪車のオーガ部分（雪を掻くための回転体）にタイヤチェーンが絡まり、これを除去する作業中、タイヤチェーンを除去し易いように被災者が除雪車オペレーターにオーガを少し回転させるよう指示し、運転者がオーガを少し回転させたところ、オーガに巻き込まれた。

## ■車両系建設機械

## 06. 交通事故

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	神奈川県	その他の業種	12月	30～39歳	被災者1名で道路灯水銀球の球切れの取り替えを高所作業車を用い、道路上に配置（片側2車線の走行1車線側）、作業台を走行2車線側の上空3.7m付近に旋回して作業を行っていた際、走行2車線側を走行してきた10tトラックの荷台前方に作業台が激突され、作業台から振り飛ばされ、道路上に墜落した。

## ■車両系建設機械

## 07. その他

番号	県名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生概要
1	山形県	土木事業	1	30～39歳	委託された除雪に使用するためのタイヤショベルの右前輪が、空気が抜けてパンクしたような状態であったため、事業場にあったエアーコンプレッサーにより空気をタイヤに充填中に当該タイヤが破裂し、その衝撃により被災した。
2	静岡県	建築事業	1	50～59歳	電柱1本（長さ約12m、重さ約850kg）をクレーン機能付きドラグ・ショベルにてバケット背面のフック（外れ止め装置あり）へワイヤロープ1本による1本吊りをして設置位置に建柱作業していた際、吊りワイヤロープがよじれたため、アイがフックから外れた結果、電柱が倒れ、付近にいた電気工が下敷きになった。